



一般社団法人 日本臨床試験学会



第17回学術集会総会 in 神戸 特集

大会長よりメッセージ

2026年2月19日～21日に開催いたしました「第17回学術集会総会 in 神戸」は、『臨床試験が紡ぐ人々のしあわせ～対極の共存、協働による調和～』というテーマのもと、お蔭様でオンデマンド配信を含む全プログラムを無事に終了いたしました。

本大会には、2,200名を超える非常に多くの皆さまにご参画を頂きました。会場にあふれた温かいご支援、活気に満ちた交流、未来を見据えた活発な議論により、大変な盛会裏に終えることができましたことを、心より皆様に感謝申し上げます。スイーツパラダイスや船上懇親会など、初めての企画もご用意致しましたが、皆様方には、学会を存分にお楽しみ頂けましたでしょうか？

多岐にわたる魅力的なセッションをご企画いただいた先生方、日々の業務の中で臨床試験に真摯に取り組みご参加くださった皆さま、そして多くの共催セミナーやブース出展をはじめ、約2年間の準備期間から多大なるお力添えをいただいた関係諸氏に、改めて心より深く御礼を申し上げます。神戸の地で皆さまと紡いだこの『しあわせ（仕合わせ、幸せ）』の輪が、これからの臨床試験のさらなる発展と調和を通じて、次の世代へと健やかに広がっていくことを願ってやみませぬ。

次回第18回学術集会総会は、2027年3月11日（木）～13日（土）に川口大会長のもとタワーホール船堀にて開催予定です。第17回大会で得られた皆様方との数々の有意義な議論や温かい交流を、また次回、東京でもご体験いただけますよう、ぜひご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



第17回日本臨床試験学会学術集会総会 in 神戸
会長 真田 昌爾

神戸大学医学部附属病院
臨床研究推進センター長/教授
神戸大学大学院医学研究科
橋渡し科学分野長

コンテンツ

第17回学術集会総会 in 神戸 特集

大会長メッセージ	... 1
Day.1	... 2
Day.2	... 5
Day.3	... 9
優秀演題と最優秀演題	... 11
JSCTR Awards	... 12
フォトギャラリー	... 14
次期大会長メッセージ	... 16

今号は、第17回学術集会総会の特集として、様々なシンポジウム、セッションの様子を掲載しました。全てのシンポジウムの掲載には至りませんでした。多くのプログラム委員、オーガナイザーの先生方のご協力のもと発刊にいたることができました。神戸国際会議場で開催された今大会には、会員 884名、非会員 1,213名、学生 47名、招聘演者 94名の計2,238名の参加者数となりました。神戸での開催にちなみスイーツやクルーズといった企画も印象深い大会でしたが、各セッションの内容や写真に加え、JSCTR Awardと受賞者からのコメント・メッセージ、次期大会長の川口 崇氏からもメッセージをいただいております。当時の熱気やワクワク感を思い出しながら、お楽しみください。

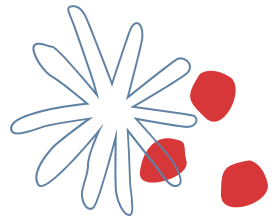
広報委員会 編集担当者





一般社団法人 日本臨床試験学会

Day1 2026.02.19 Thu.



市民公開講座

医療と研究と私

病気になってもだいじょうぶ！「あったらいいな」をみんなで作ろう

司会：小村 悠（国立がん研究センター東病院）

第1部 認知症になってもだいじょうぶ ～「認知症神戸モデル」から学ぶ

- 古和 久朋 神戸大学認知症予防推進センター
 - 吉岡 祐美 日本イーライリリー株式会社
 - 山崎 純子 神戸大学医学部附属病院
- 認知症のある方／ご家族の立場の方

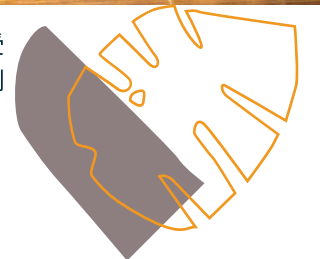
第2部 みんなの「あったらいいな」を臨床試験でかなえよう

- 有田 悦子 北里大学
- 岩崎 幸司 大阪大学医学部附属病院
- 岡崎 愛 東京科学大学病院
- 勝井 恵子 日本医療研究開発機構（AMED）
- 鈴木 啓介 国立長寿医療研究センター
- 長谷川一男 NPO 法人肺がん患者会ワンステップ
- 谷島雄一郎 ダカラコソクリエイト／カラクリLab／大阪ガスネットワーク株式会社



「認知症神戸モデル」とは、認知症の方やそのご家族が安心・安全に暮らしていけるよう、認知症の早期受診を支援する「診断助成制度」と、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「事故救済制度」を組み合わせることで実施する、全国初の制度です。（参考URL：<https://kobe-ninchisho.jp/>）[CLICK HERE >](#)

認知症というキャッチーなテーマで、第1部・第2部通して多くの方にご参加いただきました。臨床試験学会における社会貢献の一環として、参加者の皆さんに医療や臨床研究に対する親近感や当事者意識をもっていただくことに繋がったのではないのでしょうか。





一般社団法人 日本臨床試験学会

Day1 2026.02.19 Thu.

AMED医学系研究をわかりやすく伝えるワークショップ IN 神戸

➤➤➤ オーガナイザー：勝井 恵子（国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED））

2月19日午前、「AMED医学系研究をわかりやすく伝えるワークショップ in 神戸」を開催しました。

飯田綱規氏（東北大）、井出博生氏（順天堂大）、北澤京子氏（京都薬科大）、田中久美子氏（広島大）、早川雅代氏（東京大）、山田恵子氏（埼玉県立大）の指導のもと、「医学系研究をわかりやすく伝えるための手引き」を用いて、総勢38名で模擬プレスリリースをグループで添削しました。

患者・当事者も交え、多様な立場の参加者がワイワイと議論しながら、「わかりやすく伝えるスキル」を磨く、楽しくも白熱した2時間となりました。



ボードレス座談会2026

立場を超え、対話で紡ぐ！臨床研究のしあわせな未来図 ～私たちが創る委員会事務局と多職種との協奏曲～

➤➤➤ オーガナイザー：武井 陽子（宮崎大学医学部附属病院臨床研究支援センター）



約120名の多職種の参加者がリアルタイムアンケートで意見を共有し、共感コメントや「いいね」が次々と寄せられるなど、会場は終始和やかで活気ある雰囲気になりました。

参加者同士の交流コーナーでは参加者同士の対話が自然に弾み、新たなつながりが広がりました。

終了後アンケートの満足度は非常に高く、参加者からは「明日の業務に活かせる具体的な気付きが得られた」との声も多くあり、次回開催を期待する声が多数寄せられるなど、実りある学びと交流の機会となりました。





一般社団法人 日本臨床試験学会

Day1 2026.02.19 Thu.

第14回GCPエキスパートクラブ・懇親会

意見交換テーマ：
ICH E6 (R3) 治験エコシステム、人材育成とキャリアプラン、エキスパート活動のこれからについて



学会初日に第14回GCPエキスパートクラブを開催し、約70名の方にご参加いただきました。運営は長尾典明氏（がん研有明）を中心にエキスパート（OLIVE）有志が担当しました。今回は「日頃の業務で困っていること、課題、疑問に思っていることについて意見交換する」をテーマにオブザーブ参加のPMDA小池恒氏を交え、参加者が主体となりICH E6 (R3) と治験エコシステム、人材育成とキャリアプラン、エキスパート活動のこれからについて活発に意見交換しました。終盤ではOLIVEメンバーから活動にかける熱いメッセージもあり、ご参加いただいた方にとって満足度の高い会となりました。





Day 2

2026.02.20 Fri.



シンポジウム

臨床開発・臨床研究の意思決定～Go/No-go決定はどうやって？



本シンポジウムでは、臨床開発・研究のGo/No-go判断をテーマに産学双方の知見を共有しました。中外製薬の川畑氏からはTPP等に基づく企業の実務的な評価軸が示され、東京科学大の今井氏と東北大の笠井氏からは、資金等の制約があるアカデミア特有の現場で柔軟な意思決定を行うための実践知が報告されました。続くパネルディスカッションでは、重要局面での判断と行動の在り方を巡り、満席の会場からも多くの質問が寄せられ、活発な議論が交わされました。産学連携の深化に繋がる貴重な機会となりました。

シンポジウム

GCP省令改正の最新動向を知る！

本セッションでは、ICH-E6 (R3) の国内実装に向けた「GCP省令改正」の現場への円滑な導入をテーマに、講演とパネルディスカッションが行われました。まず、厚生労働省よりGCP省令改正にともなう最新動向や検討事項について詳細な解説が行われました。続いて、PMDA治験エコシステム導入推進事業における実務の効率化に向けた取り組みとして、治験手続きの円滑化や、治験関連書類の標準化に関する具体的な成果報告が行われました。これらの報告をもとに、実務への適用に向けた活発な議論が交わされました。

チャットングセッション

PROって何？臨床試験での役割とお作法

朝一番の枠で欠席も懸念されましたが、実際には申込者の90%以上が来場されました。ミニレクチャー後のグループワークでは、あえて経験年数の近い方同士で構成し、各卓にファシリテーターを配置。専門性の高い「ePRO」というニッチな領域ゆえ、日頃の業務で相談先に悩む方も多く、当日は非常に活発な意見交換が行われました。事後アンケートの満足度は5点満点中平均4.91と極めて高く、「悩みの隙間を埋める貴重な機会」を提供できたと感じています。





一般社団法人 日本臨床試験学会

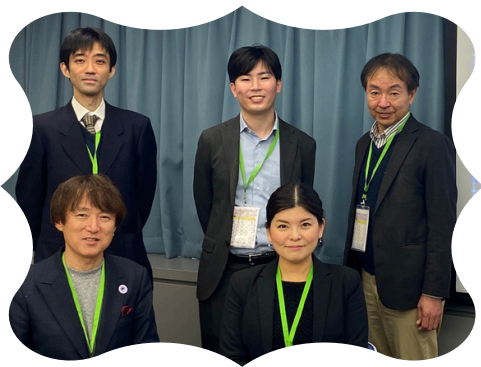
Day 2

2026.02.20 Fri.



シンポジウム

日本の創薬、なぜ遅れる？～「死の谷」を越える産官学の挑戦～



本シンポジウムでは、臨床試験を実施する立場、研究を支援する立場、倫理審査を行う立場から演者を迎え、医療と研究の交差点に佇んだ時に感じる葛藤や思いについて共有していただきました。

医療と研究という対立しかねない概念を繋ぐものは「目の前の患者」と「事実」への誠実さ、そして、質の高い研究は倫理的であるはず、という本質をついた演者の言葉が心に響き、臨床試験の原点を見つめ直す素敵な時間となりました。

ワークショップ

知ることから始まるキャリアの一步
～がん臨床試験 × がんCRPの仕事～

がんCRPチャットセッションでは、日々の業務の中で立ち止まり、自身の役割や在り方を改めて考える貴重な機会となりました。参加者からも「学びになった」「自分の役割を見つめ直せた」との声が寄せられました。臨床試験を取り巻く環境や生成AIなどのツールが変化中、臨床研究専門職に求められる役割も進化しています。認定取得者同士が連携し、がん臨床研究を牽引する存在として活躍していくことの重要性を再認識する場となりました。



ワークショップ

生成AI事始めワークショップ
～明日からあなたもチャットボット型生成AIを使いこなせる～

生成AIの使い方を「知る」だけでなく、「試してわかる」90分となりました。参加者はPCを開き、プロンプトを少し変えるだけで回答が大きく変わることを体感されました。会場では約50人の参加者全員が黙々とPCに向かいプロンプト作成に取り組む、学会のワークショップとしてはなかなか見られない光景も広がりました。驚きや納得の声が上がり、実務への応用を見据えた具体的な質問も多く寄せられました。





一般社団法人 日本臨床試験学会

Day 2 2026.02.20 Fri.



シンポジウム 医療と研究の交差点～臨床試験の倫理を考える～



本シンポジウムでは、臨床試験を実施する立場、研究を支援する立場、倫理審査を行う立場から演者を迎え、医療と研究の交差点に佇んだ時に感じる葛藤や思いについて共有していただきました。医療と研究という対立しかねない概念を繋ぐものは「目の前の患者」と「事実」への誠実さ、そして、質の高い研究は倫理的であるはず、という本質をついた演者の言葉が心に響き、臨床試験の原点を見つめ直す素敵な時間となりました。

スイーツパラダイス

本大会では企業ブースやアカデミアブースを回りシールを集めると神戸スイーツを楽しめる企画が実施されました！
大会長オススメの人気スイーツが疲れた頭と身体に沁みました...とても美味しかったです！



シンポジウム 臨床研究法のこれから





一般社団法人 日本臨床試験学会

W PARTY TIME W
lee

Day2 2026.02.20

Friday Night

懇親会 神戸港中突堤旅客ターミナル～須磨沖をクルーズ

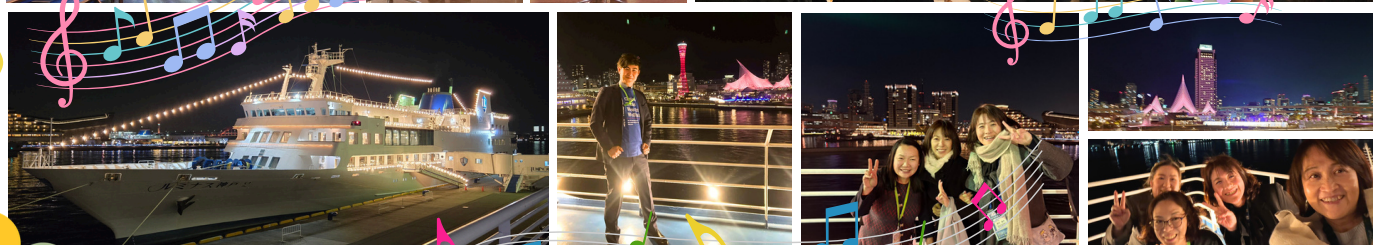
➤➤ レストランクルーズ船 ルミナス神戸2



クルーズ船「ルミナス神戸2」を借り切ったの懇親会、200名の方が参加され、最高に盛り上がりました！
久々の皆さんとの語らいやカルテットの生演奏も存分に楽しめて、学会ならではの楽しいひと時を、皆さんで共有できました。ありがとうございました！！

【スケジュール】

- 乗船・出航
- 開会の挨拶・乾杯
- 歓談（お食事）
- カルテットリサイタル
- 次期大会長挨拶
- 閉会の挨拶
- 帰港

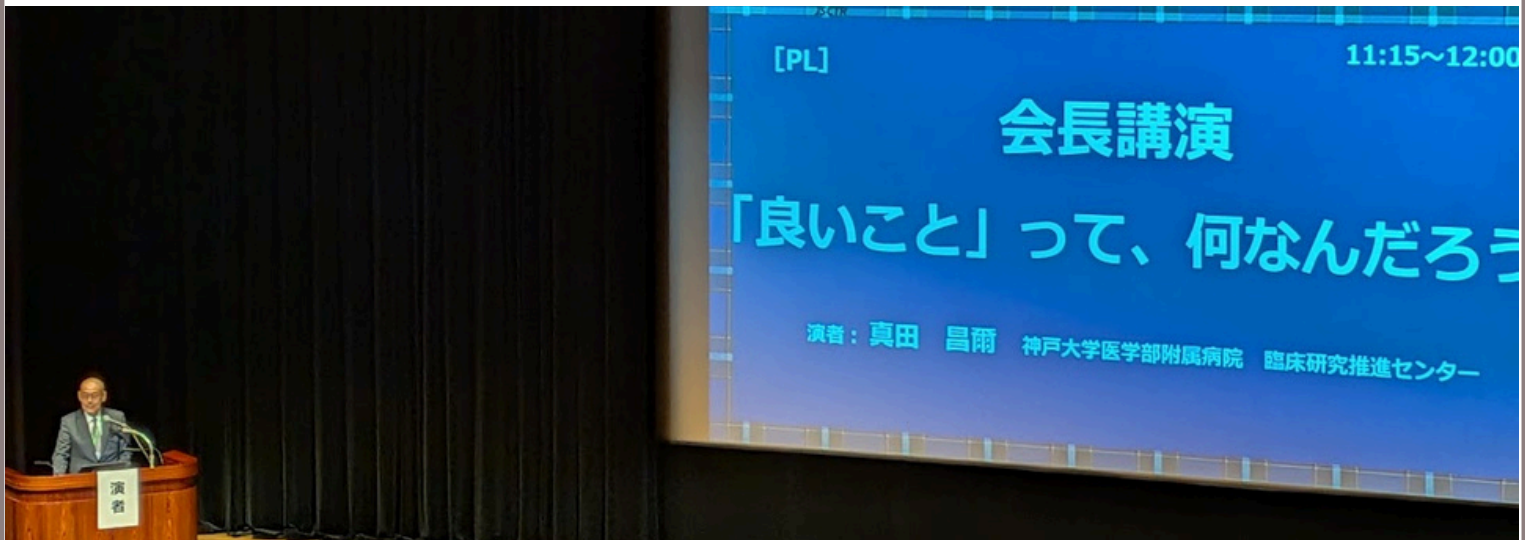




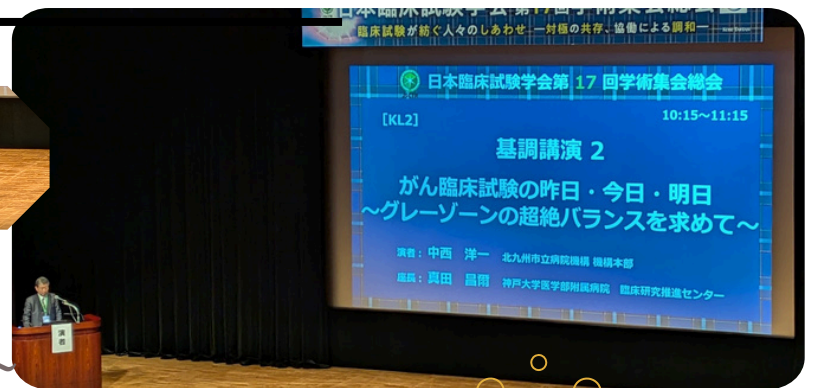
一般社団法人 日本臨床試験学会

Day3 2026.02.21 Sat.

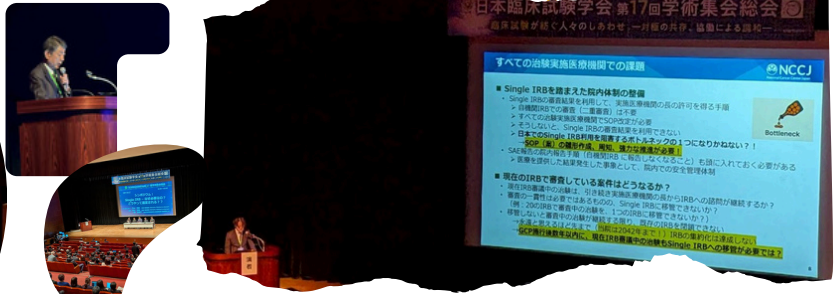
会長講演：「良いこと」って、何なんだろう
今大会の会長、真田先生の講演!! 面白おかしく、そしてためになる講演でした。



基調講演 2
がん臨床試験の昨日・今日・明日7
～グレーゾーンの超絶バランスを求めて～



シンポジウム Single IRB-なぜ必要なの？どうやって選定される??



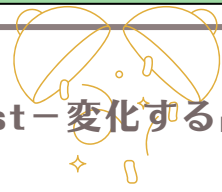
Single IRBの必要性や、導入への取り組みなど貴重な内容を講演いただき、活発なディスカッションが行われていました



一般社団法人 日本臨床試験学会

シンポジウム

Road to Clinical Quality Specialist – 変化する品質マネジメントとAROモニターの役割 –



昨年に続く ARO モニター 企画の第 2 弾にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年も立ち見が出るほど多くの方々にお越しいただき、変革への期待の高まりを感じています。

Hope is not a strategy. – 神戸から Clinical Quality Strategist への道を共に歩み始めましょう。



シンポジウム

わが国において、Market Value に基づくベンチマーク型コスト算定は浸透するか？

日本の国際競争力を高めるため「治験エコシステム」の構築が急がれています。本セッションではその中でも、治験費用算定に焦点をあてています。治験費用は、医療機関の業務量や市場価格に基づいて算定されるべきであり、欧米では「Fair Market Value (FMV)」という概念が広く浸透しています。日本でもこの考え方を導入する必要があると考えています。会場からはわが国における FMV 浸透に向けた課題が問題提起されるとともに、その課題解決に向けた方策などの意見交換を行うことができました。

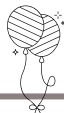


Day 3
2026.
02.21
Sat.

チャットセッション

試験統計家認定制度について知ろう！

～あなたの施設に試験統計家はおられますか？～



試験統計家認定制度の意義と、生物統計家が臨床研究に関与することの重要性について議論が行われました。制度の歩みと今後の展望、医師の立場から見た統計家の役割、さらに施設における試験統計家の育成と配置の課題が共有されました。試験統計家を個人の資格にとどまらず、施設の臨床研究機能を支える存在として捉える契機となりました。ご参加いただいた皆様に心より御礼申し上げます。

チャットセッション

番外編！臨床研究審査委員会を考える～改正法施行後、私たちが対応すべき事とは？～



このセッションでは、改正臨床研究法に合わせ昨年10月に開催された JSCTR 主催「第11回倫理審査委員会を考える！改正臨床研究法が臨床研究の計画・実施に与える影響」の続編として「普段は発言しにくい事も自由に語ろう！」を目的に、意見交換を行いました。現場の困ったあれこれをグループで話し合い、最後はパネリストも加わり全体セッションを通じて価値ある有益な情報を得ることができました ✨ 参加者のみなさまと充実した時間を過ごす事ができました。参加のみなさん、ありがとうございました ✨

チャットセッション：グローバル開発、産・学・官・民で描く日本の未来図

本セッションは、参加者同士の心が通い合う、あたたかく一体感のある場となりました。話題提供者による切れ味鋭いオープニングトークを皮切りに、各テーブルでは、率直で活発な対話が展開されました。参加者から寄せられた多くの感想には高い満足度と前向きな熱意が感じられ、グローバル開発にどう向き合うか、品質や意思決定の在り方など、今後の行動変容につながる多くの示唆が得られたセッションとなりました。





一般社団法人 日本臨床試験学会



優秀演題と最優秀演題

受賞された先生方、その共同演者の先生方、おめでとうございます！

モデレイテッドポスター



最優秀演題

モデレイテッドポスター

箕原 豪人 先生

(筑波大学 つくば臨床医学研究開発機構)

保険薬局と協働した分散型臨床試験 (DCT) の取り組み
 演者：箕原 豪人、嘉数 紗恵、若松 明、中井 啓、
 櫻井 英幸、橋本 幸一、山田 武史

優秀演題 モデレイテッドポスター

福田 祐介 先生

(国立精神・神経医療研究センター)

Fair Market Valueに基づくベンチマーク型コスト算定を経験した治験実施医療機関に対する 実態調査
 演者：福田 祐介、近藤 直樹、黒田 智、稲泉 恵一、
 渡邊 達也、五百蔵 武士、樋口 昇大、尾崎 雅彦、
 酒井 隆浩、岡野 朋果、濃沼 政美、山口 拓洋

優秀演題 モデレイテッドポスター

大西 かおり 先生

(神戸大学医学部附属病院 臨床研究推進センター)

生成AIの助言を活用した事務局作業効率化の実例：一括リネームとPDF化による時短と品質の向上
 演者：大西 かおり、五百蔵 武士、真田 昌爾



一般口演



最優秀演題

一般口演

鈴木 昌 先生

(東京歯科大学 市川総合病院 救急科)

臨床試験参加意向の規定要因と態度構造
 演者：鈴木 昌、福田 真弓、山本 晴子、南 学、岩崎 幸司、有田 悦子、
 渡邊 卓也、石上 晃子、平瀬 佳苗、REFINED-IC 研究班



優秀演題 一般口演

川端 紗智重 先生

(国立がん研究センター中央病院)

生成AIを活用した治験関連文書自動作成ツールの精度向上と実用性の評価
 演者：川端 紗智重、水澤 純基、安生 健太、川嶋 聡、川崎 真実子、
 長坂 優佳里、伊藤 久裕、沖田 南都子、中村 健一



一般社団法人 日本臨床試験学会

JSCTR Award

今年度のJSCTR Awardは、Best of GCPエキスパートが1名、Tomorrow's Leader 賞が2名選ばれました。受賞者の先生方からのコメントを掲載します。



Best of GCPエキスパート



鎌倉 千恵美 先生 アガサ株式会社

このたび、「Best of GCPエキスパート Award」という荣誉ある賞を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

私が代表を務めるアガサは、2016年より本学会学術集会総会に毎年協賛し、学会員の皆様との議論を通じて、日本における臨床試験の質の向上と効率化に向けた治験業務の電磁化プラットフォームづくりに、社員とともに取り組んでまいりました。その活動の中で、GCPパスポートとGCPエキスパートを取得いたしました。

今回の受賞を励みに、今後も本学会および関係者の皆様と連携し、テクノロジーの活用を通じて臨床試験・臨床研究の推進と質向上に貢献してまいります。引き続きご指導の程、よろしくお願い申し上げます。





一般社団法人 日本臨床試験学会



Tomorrow's Leader 賞

大庭 真梨 先生 国立精神・神経医療研究センター病院 臨床研究・教育研修部門



この度はTomorrow's Leader賞を賜り、ありがとうございます。大変光栄に思っております。初代代表理事の大橋靖雄先生から「すごいメンバーが集まっているから勉強においで」とお声かけいただいて以来、様々な委員会で本学会に関わらせて頂いてまいりました。昨年は学術集会の実行委員長という大役も担わせて頂き、改めて多様な専門性と熱意を持つ会員の皆様との協働の豊かさを実感いたしました。

生物統計家として臨床試験に携わる立場から、よりFit for purposeな試験の推進とヘルスケアへの還元に向けて、そして異なるバックグラウンドを持つ専門家が互いをリスペクトし切磋琢磨できる学会文化の醸成に、これからも力を尽くしてまいります。

福田 真弓 先生 国立循環器病研究センター 臨床研究推進センター データサイエンス部/脳血管内科



このたびはTomorrow's Leader賞という大変栄誉ある賞を賜り、心より御礼申し上げます。私はこれまで、脳卒中急性期診療に携わる臨床医としての視点と臨床試験支援の立場の双方から、急性期脳卒中領域に特有の臨床試験の方法論的・実務的課題に関心を持ち、さまざまな取り組みを進めてまいりました。本賞を励みに、今後もこうした視点を大切にしながら取り組みを続けていきたいと考えております。日頃よりご指導くださる先生方をはじめ、研究や試験運営の専門的見地から多くの示唆をいただいている関係者の皆様に深く感謝申し上げます。今後も学びを深めながら、本学会の発展に微力ながら貢献できるよう努力してまいります。





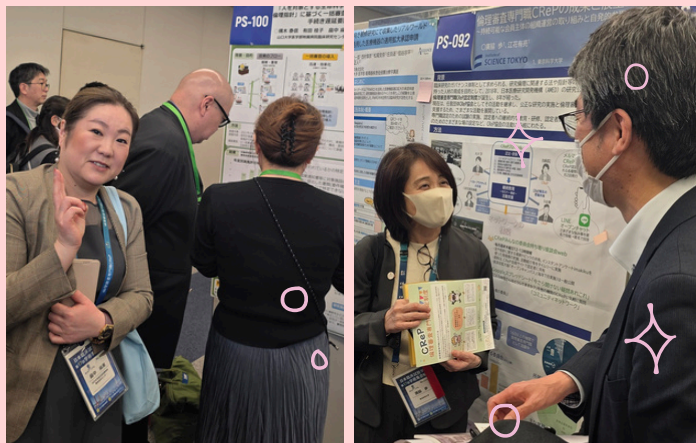
一般社団法人 日本臨床試験学会

VISUAL HIGHLIGHTS FROM THE 17TH ANNUAL MEETING





一般社団法人 日本臨床試験学会



RECEPTION ABOARD A CRUISE SHIP





一般社団法人 日本臨床試験学会

★WEBサイト刷新★



神戸大会開催と同時に、JSCTRのWebサイトが刷新されました。これからさらに内容を充実させていく予定です。今後を楽しみにお待ちしております。

次回大会は東京・船堀

神戸大会のどこか暖かくやわらかな雰囲気之余韻にひたる暇もなく、次回大会にむけて準備が始まっています。第18回の学術大会は東京のタワーホール船堀にて、2027年3月11日～13日に開催を予定しております。

「Think Different, Act Together -つながりから芽吹く、これからの臨床試験-」このテーマを掲げ、大会のポスターも思いを込めてデザイナーの方と作らせていただきました。心強い仲間を支えられながら、会員の皆様に良い機会を提供できるように準備を進めております。進捗をSNSで発信しておりますので、ぜひご覧ください。



第18回JSCTR学術集会総会 in 東京への多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。



第18回日本臨床試験学会学術集会総会 in 東京
会長 川口 崇
東京薬科大学 臨床評価学教室 教授
東北大学大学院医学系研究科
医学統計学分野 非常勤講師

編集後記

皆様のご協力のおかげをもちまして、学術総会の特集を中心とした第3号を無事お届けする運びとなりました。深く感謝申し上げます。当日は、会場の熱気を少しでも多くお伝えしたい一心で、プログラムを手に文字通り東奔西走しておりました。腕章をつけ、いささか慌ただしく駆け回る姿をお見せしてしまったかもしれませんが、何卒ご容赦ください。今後も皆様に楽しんでいただける誌面づくりに努めてまいります。

(担当者1号)

ニュースレターで学会特集をお届けするのは今回で三度目です。視覚的にも楽しんでいただけるように今回は特に写真盛り盛りでお届けしています！

大盛況のうちに終了した第17回学術集会総会の様子が多くの皆さまに伝わり、次回大会への期待に繋がれば嬉しいです。

(担当者2号)

人がつながり、学びが広がる……。本ニュースレターが、学術集会で生まれたJSCTRらしさ(活気や交流)を感じていただく一助となれば幸いです。また次回、皆様とお会いできることを楽しみにしております！

(担当者4号)

ニュースレター第3号をお届けいたします。本号では、第17回学術総会のハイライトを写真とともにご紹介しております。現地の熱気や活発な議論の様子を感じていただければ幸いです。

今後も、学会の活動を広くお伝えできるよう取り組んでまいります。

(担当者3号)

学会に参加された方の一部はお気付きになられたかもしれませんが、広報誌作成メンバーはカッコ良い広報の腕章を作成し、着用しておりました。腕章をつけてる人を学会で見つけたら、暖かくみまわってください！

(担当者5号)



一般社団法人 日本臨床試験学会

一般社団法人 日本臨床試験学会

代表理事 山口 拓洋

〒162-0844

東京都新宿区市谷八幡町14

市ヶ谷中央ビル3F

株式会社ティーケーピー内

TEL : 03-5206-4005 (平日 9:00~17:00)

FAX : 03-5206-4002

一般社団法人 日本臨床試験学会 Newsletter for JSCTR Members

作成 広報委員会

今一 留実 大崎 理海 上條 のぞみ 川口 崇 小林 典子

近藤 智子 鈴木 啓介 中村 やよい 和田 妙子

発行日 2026年6月24日

発行 一般社団法人 日本臨床試験学会